

## 2カ所で100人超診療 被災地では薬が不足

### A M D A

西スマトラ・パダン沖地震で、日本の非政府組織(NGO)「アジア医師連絡協議会(AMDA)」は五日、パリアマン内の村で医療活動を続けた。この日、日本の職員五人を含む八人が被災地入り。特設テントを立てた本格的な医療活動を、午前と午後二回に分け二カ所で百人以上に行った。

現地で活動する津曲謙司医師は「地震から数日が経ち、援助活動は医療中心になってきている。被災者の心的負担もたまってきたり、家が壊れていたり、家で寝るのが怖くて、テントや、木にくくりつけたビールシートの下で夜を明かす人も少なくない」と被災地の様子を語った。また「外傷薬や、ストレスによる頭痛などの薬が不足している」として支援の必要性を訴えた。